

「下顎運動機能と EMG 論文集」および「日本顎口腔機能学会雑誌」
電子アーカイブ化に伴う著作権委譲に関するお願い

会員ならびに著者各位

日本顎口腔機能学会（以下「本会」という）は、1982年に前身である下顎運動機能と EMG 研究会として発足して以来、学会誌「下顎運動機能と EMG 論文集」および「日本顎口腔機能学会雑誌」（以下「本誌」という）を刊行して参りました。28年の長きに亘り本誌を刊行できたことは、偏に会員各位のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

この度、科学技術振興機構（JST）の電子アーカイブ対象選定委員会によって、本誌が電子アーカイブ化される対象誌として選定され、「下顎運動機能と EMG 論文集」第1輯から「日本顎口腔機能学会雑誌」第15巻第2号までが電子アーカイブ化されることになりました。この電子アーカイブ化とは、誌面を電子データ化し、JSTが運用するアーカイブサイト「Journal@rchive（ジャーナルアーカイブ）」上で公開することをいいます。

本誌の電子アーカイブ化にあたっては、著作権法により、掲載された論文などの著者からその著作権（著作権の中の複製権と公衆送信権）の許諾又は譲渡が必要となります。しかし、前身誌である「下顎運動機能と EMG 論文集」では、著作権の委譲が明確にされておられません。また、「日本顎口腔機能学会雑誌」では、投稿規程に定められておりますが、著作権が本会ならびに著者の両方に帰属することになっております。

これらの事情から本電子アーカイブ化を進めるにあたり、「下顎運動機能と EMG 論文集」第1輯から「日本顎口腔機能学会雑誌」第15巻第2号までの著作権（複製権、公衆送信権）を本会に帰属して戴く事と致したく、本来であれば会員ならびに著者の皆様お一人ずつに「著作権の許諾手続き」を行うべきではございますが、当該公告を以って著作権（複製権、公衆送信権）の譲渡をお願い申し上げる次第です。

万一、この件に関しましてご了承戴けない場合、あるいはご不審の点がある場合は、**2010年3月31日までに**本会編集委員会に文書または電子メールでお申し出下さい。本会は、このお知らせが著者の皆様の目に触れることを前提としておりますが、何らかの事情でこの件をお知りになる機会がなかった場合には、期限を過ぎましても、あらためて個別にご相談させていただく所存です。なお、お申し出のない場合には、ご了承戴けたものとし、電子アーカイブとして公開する時期が参りました段階で、論文を掲載させて戴きたいと存じますが、公開後の会員ならびに著者の皆様からの記事取り下げ要求に際しても柔軟に対応させて戴きます。

なお、本誌の電子アーカイブ化に際しましては、論文中における被験者、患者等の個人を特定できる情報（氏名、イニシャル、顔写真等）はすべて保護処理をいたしますので、被験者、患者等の個人情報が出ることとはございません。

何卒、会員および著者各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2009年10月30日

日本顎口腔機能学会

会長 志賀 博

編集委員長 山口泰彦

連絡先：日本顎口腔機能学会編集委員会

委員長 山口泰彦

〒060-8586 札幌市北区北13条西7丁目

北海道大学病院高次口腔医療センター顎関節治療部門

Tel：011-706-4856 Fax：011-706-4856

Eメール：taihiko@den.hokudai.ac.jp